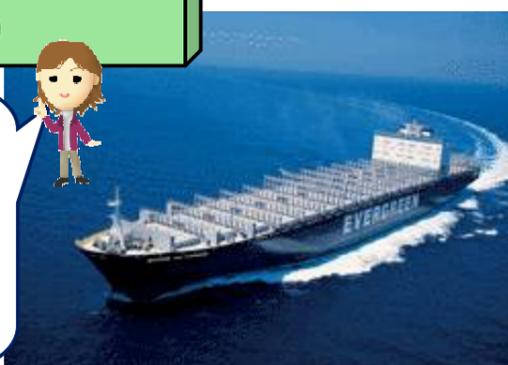


訪問2 桃園県 エバーグリーン海運(株)



エバーグリーン海運(株)は、国際空港のある桃園にあります。いつも、エバーグリーンのコンテナ船の進水式を間近に見てきていただけに、本社を訪問することは、感慨深いものがありました。胡副社長にもご対応いただき、阪神港への期待の大きさを感じました。



～エバーグリーン海運(株)社での調査より～

- 大阪・神戸を合わせて20万 TEU くらい。大阪は、神戸の2倍の量。
- エバーが扱っている神戸の荷は、今、アジアのみ。アジアからアメリカに行くアライアンスのサービスが今はまだあまりないが、どんどんやる予定。今後、神戸を使う可能性はある。
- 今は、船社が、みんな赤字 (MAESK を除いて)。今回、合併して、何かいいインセンティブがあれば、チャンスになると思う。
- 大阪・神戸に入ると2回税金を取られている。船が神戸に寄って、次に大阪に入ると、今は、とん税、水先案内など、2回の費用がかかる。合併によって考えてもらいたい。
- 1番大切なことは、荷物の量。荷物があれば利用する。
- 2番目は、入港料金が安いこと。例えば、小さい船、1300TEU くらいの船、2万トン以下の船の入港料金は東南アジアの4倍くらいの料金になる。もし、この2点をクリアできるなら、日本の港を利用するだろう。

訪問3 台北医学大学 張教授



＜張文昌先生経歴＞
 台北医学院薬学系学士
 東京大学薬学部大学院修士、博士を取得
 米国 NIH 研究員
 東京都老人総合研究所客員研究員
 米国ケンタッキー州立大学客員研究員
 国立成功大学教授、
 基礎医学研究所所長、医学院副院長
 行政院国家科学委員会副大臣
 台北医学大学医科学研究所講座教授
 (理事長)



～張教授のお話より～

張先生は、2012年に神戸市で開催された台湾国家科学委員会主催 ((公) 先端医療振興財団が共催) の「日台癌のトランスレーショナル研究シンポジウム」において、主催者側代表として来日された先生です。1990年当時に、神戸大学の故西塚泰美先生と共同研究を行っていらっしゃったそうです。(西塚先生は、プロテインキナーゼCの発見者であり、山中先生より前にノーベル賞の候補だったということ。) 国家科学委員会は、毎年、日本との交流のシンポジウムを開催しており、2013年には、バイオの関連で北大と共同シンポジウムを開催しています。(「日台機能性食品の研究と産業の開発」)

台湾では、今、特にバイオに力が入れられており、台湾の建設業、潤泰集団が創設した賞「唐獎 (タン・プライズ)」のバイオ医薬部門の受賞者二人のうちひとりに、京大の本庶 (ほんじょ) 佑 (たすく) 客員教授が選ばれたことを、大変嬉しそうに語られました。台湾では、分子標的薬の開発が非常に盛んであり、国家型のプロジェクトで進められています。

台北医学大学は、今年4月に兵庫県と粒子線治療で協定 (MOU) を結んでおり、学生が神戸大学に研修に来られています。大学の3つの附属病院には、ベッドが3000あり、粒子線治療の導入を検討しているが、許可が出たら、どうやって作るのか、MOUに基づいて多分、兵庫県が手伝ってくれることになるだろうということでした。

台湾観光協会 / 新竹県とのやりとりについて

台湾の観光キャラクターとして誕生した、「Oh! Bear」(オーベアー) と、神戸の「KOBEAR」(コーベアー) との出会いを模索中です。

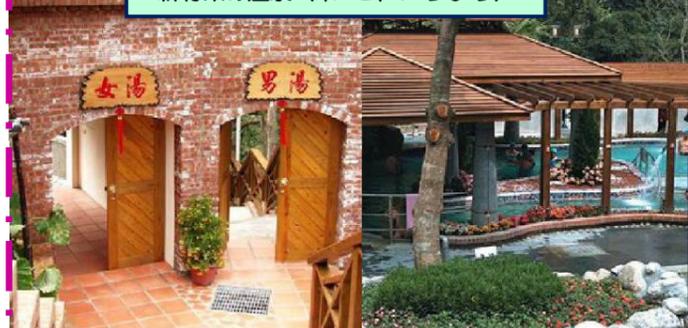
神戸を訪問する台湾からの観光客は、増加傾向にあります。来年、日本で封切られる、映画「KANO」は、戦前に甲子園に台湾代表で出場し、準優勝した嘉儀農林高校の活躍を描いたもので、台湾で空前のヒットとなりました。この影響で甲子園を訪問する観光客も増えたそうです。

更に、新竹県と有馬温泉観光協会が、温泉を中心に観光で連携しようという動きがあり、10月29日、友好交流推進の協定が結ばれました。



台湾の観光キャラクター Oh! Bear (オーベアー)

新竹県の温泉 (ホームページより)



新竹県

有馬温泉
観光協会



神戸港の状況については、日銀神戸支店が2013年11月に、レポートを作成しています。様々な角度から、神戸港の状況分析と、今後の方向性などについて考察されており、大変優れたものです。今後、港のあり方について議論するとき、エバーグリーン海運(株)社での船主さんの声や、こうしたレポートを参考にして取り組んでいきたいと思えます。



～日銀レポートより～

○神戸港は、震災後、世界順位を52位に下げ、国内でも、4位になった。

○港の背後にある工場など「港湾の集荷力」がユーザーから問われ続けた結果ともいえる。

○震災後から地方コンテナ港の整備拡充が進み、現在の日本には地方コンテナ港が62港も設置されている。

○しかし、日本全体のコンテナ取扱量は世界第4位を確保している。

○国家戦略として「グローバルハブ港」を育てることで、最適な物流体制を敷くことが可能。国際競争に勝つには「選択と集中」が必要である。

○アジア諸港が港湾のIT化や24時間化を急速に進め、結果として神戸港は、港湾荷役料や使用料が高コストとなり、港湾使用時間の制限が足枷になるなど、グローバル競争の中で遅れをとって来た。

(図表2) 世界のコンテナ取扱量ランキング

1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2012年(速報)
1 NY	1 ロッテルダム	1 シンガポール	1 香港	1 香港	1 シンガポール	1 上海	1 上海
2 ロッテルダム	2 NY/NJ	2 香港	2 シンガポール	2 シンガポール	2 香港	2 香港	2 シンガポール
3 神戸	3 香港	3 ロッテルダム	3 高雄	3 釜山	3 上海	3 香港	3 香港
4 香港	4 高雄	4 高雄	4 ロッテルダム	4 高雄	4 深圳	4 深圳	4 深圳
5 高雄	5 神戸	5 神戸	5 釜山	5 ロッテルダム	5 釜山	5 釜山	5 釜山
6 シンガポール	6 シンガポール	6 釜山	6 ハンブルク	6 上海	6 寧波	6 寧波	6 寧波
7 サンファン	7 横浜	7 ロサンゼルス	7 横浜	7 ロサンゼルス	7 ロッテルダム	7 広州	7 広州
8 ハンブルク	8 アントワープ	8 ハンブルク	8 ロサンゼルス	8 ロングビーチ	8 ハンブルク	8 青島	8 青島
9 オークランド	9 ロングビーチ	9 NY/NJ	9 ロングビーチ	9 ハンブルク	9 ドバイ	9 ドバイ	9 ドバイ
10 シアトル	10 ハンブルク	10 基隆	10 アントワープ	10 アントワープ	10 ロサンゼルス	10 ロッテルダム	10 天津
11 アントワープ	11 基隆	11 横浜	11 NY/NJ	11 深圳	11 ロングビーチ	11 天津	11 ロッテルダム
12 横浜	12 釜山	12 ロングビーチ	12 東京	12 ポートクラン	12 アントワープ	12 高雄	12 ポートクラン
13 プレメルハーベン	13 ロサンゼルス	13 東京	13 東京	13 ドバイ	13 青島	13 ポートクラン	13 高雄
14 ポルチモア	14 東京	14 アントワープ	14 ドバイ	14 NY/NJ	14 ポートクラン	14 アントワープ	14 ハンブルク
15 基隆	15 プレメルハーベン	15 フェリクストウ	15 フェリクストウ	15 東京	15 寧波	15 ハンブルク	15 アントワープ
16 釜山	16 サンファン	16 サンファン	16 マニラ	16 フェリクストウ	16 天津	16 ロサンゼルス	16 ロサンゼルス
17 ロサンゼルス	17 オークランド	17 プレメルハーベン	17 サンファン	17 プレメルハーベン	17 NY/NJ	17 タジュンハラハス	17 大連
18 東京	18 シアトル	18 シアトル	18 オークランド	18 ジョイアタウロ	18 広州	18 ロングビーチ	18 タジュンハラハス
19 シェダ	19 フェリクストウ	19 オークランド	19 オークランド	19 タジュンハラハス	19 広州	19 廈門	19 廈門
20 メルボルン	20 ポルチモア	20 マニラ	20 プレメルハーベン	20 横浜	20 東京	20 NY/NJ	20 タジュンハラハス
38 大阪	34 大阪	24 名古屋	22 名古屋	22 神戸	27 横浜	25 東京	24 NY/NJ
45 名古屋	35 名古屋	38 大阪	23 神戸	28 名古屋	34 名古屋	36 横浜	28 東京
			26 大阪	36 大阪	39 神戸	47 神戸	43 横浜
					41 大阪	48 名古屋	50 名古屋
						56 大阪	52 神戸
							57 大阪

● ... アジア大洋州の港湾 (赤字は日本の5大港)
 ● ... ヨーロッパ大陸の港湾
 ● ... 北アメリカ東海岸の港湾

(出所) CONTAINERISATION INTERNATIONAL YEARBOOK, CONTAINERISATION INTERNATIONAL TOP100 CONTAINER PORTS 2012, CONTAINERISATION INTERNATIONAL TOP100 CONTAINER PORTS 2013